

令和4（2022）年度 みよし市障がい者自立支援協議会第2回全体会 次第

日時：令和4（2022）年11月21日（月）

午前10時から正午まで

場所：みよし市役所3階 研修室1，2，3

第1 あいさつ

第2 協議事項

1 令和4（2022）年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

（1）運営会議の事業報告、意見交換

人材育成検討チームの事業報告、意見交換

（2）暮らしの場検討チーム事業報告、意見交換

（3）地域生活支援拠点検討チーム事業報告、意見交換

【協議事項】

地域生活支援拠点をどのように理解しているか。また、全体会構成員が所属する機関や個人として、地域生活支援拠点とどのような関わりや接点があるか。

（4）児童部会の事業報告、意見交換

【協議事項】

幼少期の子どもを持つ保護者は、誰にどのような相談をしていたか。

（5）就労支援部会の事業報告、意見交換

（6）精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

（7）医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

2 上半期地域課題報告書について

【協議事項】

報告内容（まとめ）に挙げた課題について、事業所としてどのように考えるか、どのように取り組んでいるか、どのようなところが地域課題だと考えるか。また、所属する機関で課題と感じていることはあるか。

第3 その他（各機関からの連絡事項など）

みよし市障がい者自立支援協議会 全体会 参加者

構成員の分類	所属先	職名	氏名
市内障がい者相談支援事業所	わらび	理事・副施設長	柿下 大悟
//	しおみの丘	管理者	松平 幸彦
//	みよし市社会福祉協議会	地域福祉課 課長	福岡 光久
市内障がい福祉事業所	泰山寮	寮長	近藤 高史
//	特定非営利活動法人いきもの語り	管理者	水井 貴子
//	一般社団法人みよしはたらく協議会	代表理事	鶴田 清
//	しずく	—	—
市内障がい当事者団体	みよし市身体障害者福祉協議会	会長	前澤 晏
//	みよし市手をつなぐ親の会	会長	岸野 佳江
//	みよし市精神障がい者家族会	会長	畠中 菊代
就労・雇用の関係機関	豊田公共職業安定所	所長	山下 保
//	西三河北部障害者就業・生活支援センター	主任	山田 知弘
保育・教育・療育の関係機関	豊田市こども発達センター	地域療育相談室 室長	神谷 真巳
//	愛知県立三好特別支援学校	進路指導主事	井上 亘
//	豊田市立豊田特別支援学校	—	—
保健・医療の関係機関	みよし市民病院	副総看護師長 地域連携・医療 相談室 副室長	尾崎 真代
行政機関	愛知県豊田加茂福祉相談センター	児童育成課 主事	大河内 由美子
//	愛知県衣浦東部保健所	課長補佐	中根 恵美子
//	みよし市教育委員会	指導主事	菅田 健
相談支援地域アドバイザー	むもん生活支援センター	センター長	阪田 征彦
みよし市障がい者自立支援協議会専門部会部会長	児童部会	部会長兼事務局	戸村 智香
//	就労支援部会	部会長	山口 雅之
//	精神保健福祉部会	部会長	兼重 隆
//	医療的ケアさぽーと部会	部会長兼事務局	川北 小有里

事務局	職名	氏名	部会等事務局	職名	氏名
みよし市役所 福祉部	次長兼福祉課長	—	人材育成検討チーム	事務局	秋田 雅治
	福祉課副主幹	橋本 伸代	暮らしの場検討チーム	事務局	深田 明男
	福祉課主査	児島 裕子	地域生活支援拠点検討チーム	事務局	渡邊 裕介
	福祉課主事	立石 恵莉	就労支援部会	事務局	横山 裕規
				事務局	中村 美香
		精神保健福祉部会	事務局	小西 浩文	

令和4(2022)年度
みよし市障がい者自立支援協議会
第2回全体会

2 令和4（2022）年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

(1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 会議での協議内容

(1-2) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況

(1-3) 暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況

(1-4) 地域生活支援拠点検討チームの事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況

(2) 児童部会の事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容
- エ 研修協力について

(3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容

(4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容

(5) 医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

- ア 令和4（2022）年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容

(1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①障がい者相談支援事業等で確認できた地域課題と、解決に向けた取組の方針が、自立支援協議会議構成員内で共有されている。
- ②各専門部会及び検討チームが滞りなく運営されている。
- ③全体会で協議すべき内容及び優先順位が整理・共有されている。

イ 具体的な取組状況

- ①障がい者相談支援事業等で確認できた地域課題と、解決に向けた取組の方針が、自立支援協議会構成員内で共有されている。
運営会議において、基幹的相談支援センター担当から、相談支援事業等（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を受けた。
詳細は別紙資料（資料 No.1-1）のとおり。
- ②各専門部会及び検討チームが滞りなく運営されている。
運営会議において、各専門部会及び検討チームの取組状況を確認した。
詳細は下部ウのとおり。
- ③全体会で協議すべき内容及び優先順位が整理・共有されている。
7月及び11月運営会議において、整理・共有を行った。詳細は下部ウのとおり。

ウ 会議での協議内容

時期	会議	内容
7月27日	第1回 全体会	・令和4（2022）年度の協議会の体制について共有。 ・令和4（2022）年度の各部会・チームの運営目的等について意見聴取。
8月4日	8月 運営会議	・7月の各部会・チームの動向確認。 ・7月の地域課題について報告・共有。 ・協議会主催のシンポジウムの内容について協議。
9月1日	9月 運営会議	・8月の各部会・チームの動向確認。 ・8月の地域課題について報告・共有。 ・協議会主催のシンポジウムの内容について協議。

10月6日	10月 運営会議	<ul style="list-style-type: none"> • 9月の各部会・チームの動向確認。 • 9月の地域課題について報告・共有。 • 運営会議での協議事項について検討。 • 協議会主催のシンポジウムの内容について協議。
11月2日	11月 運営会議	<ul style="list-style-type: none"> • 第2回全体会における協議内容の確認。 • 10月の各部会・チームの動向確認。 • 10月の地域課題について報告・共有。 • 上半期地域課題報告書について共有。 • 運営会議の運営方法について報告・共有。 • 協議会主催のシンポジウムの内容について協議。

(1-2) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①障がい福祉従事者がソーシャルワークの視点を意識できるようになる。
- ②障がい福祉従事者同士のネットワークを強化する。
- ③地域生活支援拠点を意識した具体的な取り組みを行っていく。

イ 具体的な取組状況

- ①障がい福祉従事者がソーシャルワークの視点を意識できるようになる。
市内障がい福祉事業所に協力を仰ぎ、研修委員を選定。市内障がい福祉従事者を対象とした初任者研修（1～5年）を企画・開催。（資料No.1ー2）

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
10月11日	初任者研修	市内の他事業所を知り、自分の事業所の良いところを見つめ直すことを目的に泰山寮にて開催した。参加者は11名。昨年度はオンラインで実施したが、今年度は集合型で実施した。

- ②障がい福祉従事者同士のネットワークを強化する。
障がい福祉事業所がつながり、交流しながら学び合う場として、オンライン懇親会を企画・開催する。

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
8月26日	オンライン事業所見学会	市内の事業所の取組等をお互いに知り合う機会とすることを目的に開催を検討したが、第7波の影響で参加者が少なく、延期となった。
10月27日 2月17日	オンライン懇親会	事業所職員同士の横のつながりを継続して作ることを目的に開催した。テーマを設け、座談会形式で気軽に交流・意見交換を行えるよう実施した。第2回のテーマは「世代間ギャップ」、第3回は現在検討中である。

- ③地域生活支援拠点を意識した具体的な取り組みを行っていく。

(1-3) 暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①緊急時の受け入れ体制を整備する。
- ②障がい者（児）が地域で生活できる仕組み（住まいの場確保等）について協議する場ができるよう、関係機関で共通認識を持つ。

イ 具体的な取組状況

- ①緊急時の定義に基づいた支援を実働させていくため、豊田みよしケアネットの患者登録に向けて、対象者の再確認を行い、豊田みよしケアネットに患者登録をするための準備を行う。（資料 No.1-3）

【取組内容】

時期	取組	内容
10月	相談支援専門員に実態調査を行う	緊急時対応を必要とする方の実態把握を再度行う。（資料 No.1-4）
10月24日	第2回WG	実働に向けての確認及び新たな受け入れ先について検討する。緊急時対応を必要とする方の再調査の結果を報告する。

- ②障がい者（児）が地域で生活できる仕組み（住まいの場確保等）について協議する場ができるよう、関係機関で共通認識を持つ。
協議する場の設置に向けて月1回検討チーム（地域アドバイザー、しおみの丘、わらび）で勉強会開催に向け協議する。

【取組内容】

時期	取組	内容
10月7日	第2回 居住支援勉強会	居住支援に対する共通認識が持てるよう取り組む。

(1-4) 地域生活支援拠点検討チームの事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①「みよし市版地域生活支援拠点事業・地域診断表」に基づき、居住支援のための5つの機能のレベルアップを図る。
- ②地域診断表を活用し、みよし市の居住支援の課題を共有する。

イ 具体的な取組状況

- ①「みよし市版地域生活支援拠点事業・地域診断表」に基づき、居住支援のための5つの機能のレベルアップを図る。

【取組内容】

時期	取組	内容
7月27日	協議体参加	きたよし地区協議体に参加（渡邊）
8月23日	地域共生ワークショップ①	「重層的支援体制整備事業創設者が語る『地域共生』」 講師：國信綾希氏（長久手市地域共生推進監）参加者21名、傍聴等15名
9月20日	ワークショップ①動画配信	第1回の欠席者に向けた動画（Youtube）配信【限定公開】
10月25日	地域共生ワークショップ②	「地域共生・地方創生の実践を紐解く」 講師：國信綾希氏／登壇者：栗本浩一氏（合同会社 P-BEANS）、馬場貫太郎氏（社会福祉法人名古屋市南区社会福祉協議会）、北岡さとみ氏（社会福祉法人拓く）、金子達也氏（長久手市地域共生推進課） 参加者30名、傍聴等14名

- ②地域診断表を活用し、みよし市の居住支援の課題を共有する。

【取組内容（予定含む）】（資料 No.1-5, 1-6）

時期	取組	内容
7月27日	第1回全体会	地域生活支援拠点とは？みよし市の現状と今後の展開は？地域診断表の活用 他
11月21日	第2回全体会	全体会構成員に地域診断表の依頼（年内に回収）
3月24日	第3回全体会	地域診断表の分析結果を用いて、全体会構成員でディスカッション

(2) 児童部会の事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①乳幼児健診以後の支援体制を見直す。
- ②つながりシートの効果を確認し、様式の改定等につなげていく。
- ③保護者支援の課題と解決に向けた取組の方針が、部会構成員内で共有されている。

イ 具体的な取組状況

- ①乳幼児健診以後の支援体制を見直す。

【課題と方向性】

課題	方向性
1.ふたば利用児数の減少	健診フローの検証をプロジェクトチームで行うため、進捗状況の確認を行う。 (担当：保健センター)
2.就労している家庭への支援	乳児保育を担当している保育士への調査を実施し、実態把握を行う。
3.2歳児の療育の充実	児童発達支援運営委員会で具体的に定義していくため、動向の確認を行う。 (担当：子育て支援課)

【取組内容】

	時期	内容等
1について	11月	事例検討会の実施
2について	11月15日	児童部会にてアンケート内容の確認

- ②つながりシートの効果を確認し、様式等の改定につなげていく。

【取組内容】

- ・保護者向けアンケートを実施する（11月頃配布、12月中に回収）。
- ・シート修正箇所、その他課題の確認についての話し合いの実施。

【(参考) 令和4（2022）年度のシートに関するスケジュール】

時期	6月	7～8月頃	令和5年1月	2月	3月
内容	就学 相談会	個別の教育 支援計画作成	シート完成	学校に提出 教員が 園を訪問	要録提出 情報交換
	シートの周知、啓発、配布				

【(参考) 様式の改定等に向けたプラン】



③保護者支援の課題と解決に向けた取組の方針が、部会構成員内で共有されている。

【取組内容】

時期	内容等
8月2日	『親子通園ルームふたば』意見交換（資料 No.2） 参加者：所長光岡氏、事務局 内容：『ふたば』で行っている保護者支援、語る場について
未定	ペアレント・トレーニング研修についての検討

ウ 部会での協議内容（予定含む）

時期	会議	内容
11月15日	第2回児童部会	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期の取組状況について報告。 ・下半期以降の取組について協議。
3月14日	第3回児童部会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4（2022）年度の取組について報告。 ・令和5（2023）年度の取組について協議。

エ 研修協力について

児童部会として、関係職種の資質向上のために研修を企画し、豊田市こども発達センター等に協力していただいている。今年度の子育て支援課主催の研修は、以下のとおり。

時期	内容
12月20日 13時15分～ 14時30分	1園対象の研修（出前研修） 【対象園】城山保育園 ※今年度は1園のみに絞って実施 【内容】事例検討

(3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

ア 令和4(2022)年度の目標

- ①職場体験先を増やす。
- ②企業が積極的に障がい者雇用を考えるようになる。
- ③就労定着について現状と課題を把握する。
- ④就労支援部会の在り方を検討・整理する。

イ 具体的な取組状況

年間計画を下記のとおり変更する。(資料 No.3-1)

目標	取組	修正点と対策
①職場体験先を増やす。	企業に事務部門体験実習の実施状況をヒアリングし、課題をまとめる。	5～9月末実施。 →雇用支援セミナー参加者等にアンケートを実施。 「ヒアリング」を「調査」に変更。
②企業が積極的に障がい者雇用を考えるようになる。	ハローワーク、西三河北部障がい者就業・生活支援センターで各々行われているセミナーを知り、連携のあり方を検討する。	7月末実施。 →今後継続して検討する。
③就労定着について現状と課題を把握する。	市内就労移行支援事業所の就労の定着の実態調査を行う。	4月、9月末実施。 →退職者を優先に調査を行っていく。

①職場体験先を増やす。

- a.企業に事務部門体験実習の実施状況を調査し、課題をまとめる。
- b.職場体験冊子の改定内容と活用方法を検討する。

【取組内容 a】

時期	取組	内容
10月18日	アンケートを実施	雇用支援セミナー参加企業18社に対し、職場体験実習及び事務職での受け入れの実績についてアンケートを行う。うち9社から回答を得る。今後課題分析を行う。

【取組内容 b】

時期	取組	内容
5月～ 10月末	市内中学校、三好特別支援学校と職場体験冊子改訂に向けた取組を実施	各中学校の教頭及び特別支援学級の教諭、三好特別支援学校進路担当教諭から改訂内容に関する同意をもらう。9月から職場体験が始まったため、状況把握を行う。

②企業が積極的に障がい者雇用を考えるようになる。

障がい者雇用支援セミナーを今年度2回実施する予定。第1回は9月21日に実施。第2回は1月下旬を予定。(実施主体は、就労支援事業)

【取組内容】

時期	取組	内容
9月21日	第1回障がい者雇用支援セミナー	テーマ「複数名雇用を実現するコツ」申し込み企業数19社(24名)、うち当日参加は17社(22名)。
10月19日	アンケートについて意見交換	アンケートの回答が16名あり。会社からの質問等への回答及び次回のセミナーについて意見交換を行った。
10月25日 10月26日	トヨタグループ 下山分室見学会	セミナー講師所属の会社見学を実施。10社から見学希望があり、ハローワーク等関係者合わせ、計16名が2日間に分けて見学を行った。

③就労定着について現状と課題を把握する。

市内就労移行支援事業所の就労定着の実態調査を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
7月～9月	調査項目及び方法の検討	調査項目を検討・改訂し、調査票を作成した。

④就労支援部会の在り方を検討・整理する。

就労支援部会にて意見交換を行い、方向性を検討する。詳細は、下部ウのとおり。

ウ 部会での協議内容

時期	取組	内容
10月27日	第2回 就労支援部会	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢、困窮等障害に捉われない就労支援のあり方について意見交換した。・ 部会員の構成について意見交換した。(資料No.3-2)

(4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①当事者が仲間と出会いピアサポートし合える仕組みを作る。
- ②市の精神保健福祉の課題が集約できる体制ができる。
- ③市の「ひきこもり支援」のフローと連携体制が確立する。

イ 具体的な取組状況

- ①当事者が仲間と出会いピアサポートし合える仕組みを作る。
当事者が気軽に参加でき、つながることの意義を感じられるイベントをWGで検討し、精神障がい者等サポート事業に提案する。（5月～10月）

【取組内容】

時期	取組	内容
9月20日	第3回WG	・地域活動支援センター「陽なた」のピアサポート活動について聞く ・みよし市の目指すピアサポート活動について検討する

【（参考）参加機関】

シエルブルー、相談支援地域アドバイザー、愛知県衣浦東部保健所、福祉課、精神障がい者家族会、はたらくサポートセンター
※ ゲスト：地域活動支援センター「陽なた」（安城市）百瀬氏

- ②市の精神保健福祉の課題が集約できる体制ができる。
第2回精神保健福祉部会において、精神障がい者等サポート事業の報告・共有を行った。詳細は、下部ウのとおり。
- ③市の「ひきこもり支援」のフローと連携体制が確立する。
第2回精神保健福祉部会において、ひきこもり支援連絡会について共有を行った。詳細は、下部ウのとおり。

ウ 部会での協議内容（資料No.4-1）

時期	会議	内容
10月26日	第2回精神保健福祉部会	・ピアサポートの仕組み作りについて（WGの報告と意見交換） ・みよし市の精神保健福祉の課題について（精神障がい者等サポート事業の

		報告と意見交換) (資料 No.4-2) ・「みよし市ひきこもり支援連絡会」の 発足について
--	--	--

【(参考) 参加機関】

相談支援地域アドバイザー、愛知県衣浦東部保健所、衣ヶ原病院、豊田西病院、和合病院、南豊田病院、みよし地域精神障がい者家族会さつき会、みよし訪問介護ふれあいサービス、健康推進課、福祉課、シエルブルー(部会長)、はたらくサポートセンター(事務局)

【決定事項】

- ・ピアサポートのイベントについては、シエルブルーの利用者と話し合いながら取り組み始める。そこで出来たグループで検討したことを形にしていく。
- ・ピアサポーターの必要性について検討を始める。
- ・ひきこもり支援連絡会では、学校関係の方を中心に招集し、事例検討を行い、学齢期のひきこもり支援について検討していく。

(5) 医療的ケアさぼーと部会の事業報告、意見交換

ア 令和4（2022）年度の目標

- ①医療的ケア児（者）を地域に知ってもらう。
- ②医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。
- ③医療的ケア児等コーディネーターWG を中心に、市内医療的ケア児者の課題整理を行う
- ④医療的ケア児（者）の対応可能な人材を増やし、育成するための研修会を開催する。

イ 具体的な取組状況

- ①医療的ケア児（者）を地域に知ってもらう。
周知啓発 WG にて、具体的な取組内容を話し合った。

【取組内容】

時期	取組	内容
8月25日	第1回 周知啓発 WG	・取組について ・グループメンバーの役割決め (資料 No.5-1)
9月16日	第2回 周知啓発 WG	第1回目からの動きの確認 (資料 No.5-2)

【(参考)周知啓発 WG 参加機関】

NPO 法人いきもの語り、子育て支援課、キッズラバルカ（部会長）、みよし市社協（事務局）

- ②医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。
- ③医療的ケア児等コーディネーターWG を中心に、市内医療的ケア児者の課題整理を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
8月3日	第2回 医療的ケア児等コーディネーターWG	・県アドバイザー事業の報告 ・医療的ケア児等コーディネーターの活動費予算化について ・活動内容の確認等 (資料 No.5-3)

10月3日	豊田市地域自立支援協議会と打ち合わせ	医療機関の確認と日程調整
10月24日	西三河北部・西三河南部東圏域医療的ケア児支援連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等アドバイザーの取組について ・各市町の支援状況の共有（資料 No.5-4）
11月7日	第3回医療的ケア児等コーディネーターWG	<ul style="list-style-type: none"> ・西三河北部・西三河南部東圏域医療的ケア児支援連携会議報告 ・専門職とコーディネーターのすみ分けについて ・活動内容の確認（資料 No.5-5）

【(参考) 情報ガイドの検討】

豊田市地域自立支援協議会：オンリーワン・キッズラバルカ

【(参考)医療的ケア児等コーディネーターWG 参加機関】

訪問看護ステーション mom、相談支援 OK サポート、健康推進課、キッズラバルカ（部会長）
--

【(参考) 西三河北部・西三河南部東圏域医療的ケア児支援連携会議】

岡崎市・幸田町・豊田市・みよし市の医療的ケア児等コーディネーターと行政担当者各3名

- ④医療的ケア児（者）の対応可能な人材を増やし、育成するための研修会を開催する。

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
11～12月	市内事業所・保育・教育関係者への研修会開催	詳細は、今後の打合せで決定予定。

ウ 部会での協議内容

時期	会議	内容
9月29日	第1回医療的ケアさぽーと部会	<ul style="list-style-type: none"> ・県アドバイザー事業について ・西三河圏域医療的ケア児支援センターについて ・各WGの報告 ・医療的ケアのある児童生徒の合理的

		配慮について意見交換 (資料 No.5-6)
2月	第2回医療的ケア さぽーと部会 (予定)	<ul style="list-style-type: none">• 令和4(2022)年度の取組について報告。• 令和5(2023)年度の取組について協議。